

昨年度評価(H28年度)								
【重点事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_年度目標	3_達成 状況	4_28年度 決算①	5_29年度 予算②	6_差 (②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
38	給食の充実補助事業	安心安全な給食を提供する。	○	25,654	27,000	1,346	おおむね良好な事業の進歩状 況となった。 児童・生徒が安心して食べること ができる給食を提供することが できた。	学校教育課
99	厨房設備機器購入事業	老朽化した厨房機器(食器洗浄機等)を更新する。	○	52,649	16,284	-36,365		
99	栄調理場給水管取替工事	老朽化した施設の整備を行う。	○	65,149	75,842	10,693		
13	沓掛中学校舗装本復旧事業	正門から校舎までの通路の舗装を本復旧する。	○	2,863	0	-2,863	おおむね良好な事業の進歩状 況となった。	
13	小中学校図書室空調設備設置事業	沓掛小、栄小、三崎小、栄中の図書室に空調設備を設置する。	○	22,970	21,900	-1,070		
13	沓掛中学校高架水槽取替事業	老朽化した高架水槽の取替工事を実施する。	○	18,444	0	-18,444		
13	沓掛中学校屋内運動場便所等改修事業	既存便所の改修及び多目的便所の設置工事を実施する。	○	15,697	0	-15,697		
13	小中学校屋内運動場等非構造部材耐震改修事業	沓掛小、双峰小、舘小、豊明中、栄中の体育館の吊り天井を撤去する。	○	287,889	200,000	-87,889	震災時の天井落下を防止し、安全に使用できるようになった。	
13	小中学校非構造部材耐震改修事業	栄小、中央小、舘小の校舎窓ガラスに飛散防止フィルムを設置する。	○	16,308	32,400	16,092	おおむね良好な事業の進歩状 況となった。	生涯学習課
38	定住外国人日本語教育推進プレクラス・プレスクール事業	外国籍児童生徒に学校教育を受けるための基礎的な日本語を習得させる。	○	5,170	7,539	2,369		
21	第31回国民文化祭・あいち2016事業	第31回国民文化祭・あいち2016事業を開催する。	○	2,565	0	-2,565		
21	文化会館中央監視装置改修事業	実施設計を行う。	○	1,512	57,532	56,020		
21	文化会館ホール客席天井耐震改修事業	実施設計を行う。	○	17,280	234,304	217,024		
21	文化会館外壁タイル改修事業	実施設計及び改修工事を行う。	○	24,983	0	-24,983		
21	文化会館空調設備改修事業	改修工事(監理を含む)を行う。	○	22,044	0	-22,044		
21	戦人塚石碑周辺整備事業	実施設計を行う。	○	1,058	0	-1,058		
21	大狭間湿地用地購入事業	境界確定を行う。	○	1,992	17,611	15,619		
17	放課後子ども教室委託事業	放課後子ども教室を実施する。	○	19,644	22,032	2,388		
17	野外教育センター解体工事	解体工事を実施する。	○	20,004	0	-20,004		
15	南部公民館空調設備更新工事	更新工事を実施する。	○	10,027	0	-10,027		
11	三崎小学校グラウンド防球ネット設置工事	設置工事を実施する。	○	7,225	0	-7,225		
11	勅使グラウンド照明塔改修工事	改修工事を行う。	○	13,378	0	-13,378		

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。

※めざすまちの姿№.99は、めざすまちの姿関連外事業です。

「2_年度目標」から「6_差」の内容は、各所属の重点事業整理表からの転記です。

昨年度評価(H28年度)							
【主な中施策事業】評価と現状認識							
※	1_事業名	2_進捗状況	3_28年度決算①	4_29年度予算②	5_差(②-①)	6_評価と現状認識	7_所属
4	いじめ・不登校対策充実事業	A	17,691	22,791	5,100	いじめや不登校の児童生徒の削減は、本市の学校教育の中で最も大きな課題である。不登校の児童生徒は、27年度末で100人であったが、さまざまな取り組みを進め、28年度末は75人に減少した。 いじめ・不登校対策充実事業として、市の北部に教育支援センターを開設しているが、年度末で12名の子どもたちが通学しており、2人体制で支援を行っているが手一杯の状況となっている。加えて、南部に開設して欲しいとの声もあることから、南部での開設を進めているところである。養護教諭は、小学校の大規模校は2名で、それ以外は1名となっている。保健室は不登校になる前の居場所や学校復帰のきっかけの場でもあることから、不登校の生徒が多くなる中学校においても複数配置を検討する必要がある。	学校教育課
38	学力向上対策事業	B	66,535	48,589	-17,946	学力向上対策事業として、協同の学びの推進、どう塾、イングリッシュキャンプ、外国人指導助手の配置などの事業を行った。協同の学びは7校で取り組んでおり、さらなる取組み校の拡大を進める必要がある。どう塾は85人を超える生徒が参加しており、指導者である講師が不足している。きめ細やかな指導が求められる中、一層の講師の充実が必要である。また、30年度から小学校で英語が教科化されるため、現在、中学生が対象のイングリッシュキャンプを小学生へ拡大し、さらに小学校への外国人指導助手の配置も充実させる必要がある。	
38	指導力向上事業	A	6,316	5,471	-845		
38	特別支援教育事業	A	54,684	62,395	7,711		
38	定住外国人児童生徒支援事業	A	21,699	24,605	2,906		
38	小中学校補助教員配置事業	A	42,230	56,462	14,232	小中学校補助教員配置事業については、小学校の大規模校に1人の養護教員を、小中全校に17名の教員を配置している。不登校や学力向上にも効果が高い補助教員の増員配置を進めていく必要がある。	
38	大学等入学支援事業	C	1,542	6,000	4,458	大学等入学支援事業は、大学への入学金を支給する本市独自の事業であり、給付型は4人への給付、貸付型は2人への貸付となった。貸付型は大学卒業後に豊明市に在住している期間は返済の必要がない有利な内容となっている。今後は、この貸付型の有利な点をしっかりとPRするとともに、直接対象者にPRできるような方法も検討する必要がある。28年度から取り組んだ事業であることから、申込者が増加するよう一層推進していくこととしたい。	
11	体育補助金事業	C	6,387	6,844	457	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくるため、体育協会、レクリエーション協会、スポーツクラブなどに補助金を交付している。その中でスポーツクラブは、陸上、ソフトテニス、トータルスポーツ、バドミントン、フットサルの種目で活動を行っている。小中学生が対象だが、参加者は減少傾向にあることから、内容についても検討が必要である。	生涯学習課
21	陶芸の館管理事業	C	2,511	2,841	330	市民が陶芸を楽しむ拠点として、陶芸の館を運営しているが、利用者は陶芸愛好家や陶芸教室の参加者などである。利用者の増加のため、陶芸の利用者だけでなく、一般の方が会議や打合せでも利用できるようになった。	
21	図書館資料貸出事業	B	31,647	36,766	5,119	インターネットや電子図書の普及により、図書離れが進んでいるところである。多くの図書館は、その影響により貸出冊数が減っているが、本市の図書館は2年連続で市民の利用が増加している。昭和55年に開館した古い図書館ではあるが、映画会、お話し会、図書館フェア、クリスマス会、夏休み工作教室、手作り絵本講座などのイベントを年間を通して行っており、その結果であると考えていることから、今後も利用しやすい図書館として運営を行っていくこととしたい。	図書館
11	体育施設維持管理運営事業	A	105,165	116,427	11,262	教育委員会は市の施設の多くを所管しており、その多くは維持・補修を行いながら使用している。28年度においては小中学校6校の体育館・柔剣道場の吊り天井撤去工事、小学校の飛散防止フィルム設置工事、給食センターの給水管取替工事、勅使グラウンドの照明塔改修工事、文化会館の大小ホールの吊り天井撤去工事や空調設備改修工事、南部公民館空調設備改修工事、図書館の多目的トイレの改修などを行い、施設が適切に使用できるよう行ったところである。	生涯学習課
13	小中学校施設維持管理事業	A	688,942	144,786	-544,156		学校教育課
13	図書館施設維持管理事業	B	23,515	21,143	-2,372		図書館
15	公民館管理運営事業	A	27,141	18,151	-8,990		生涯学習課
21	文化財保護事業	A	14,184	28,992	14,808		
21	文化会館管理運営事業	A	204,039	423,014	218,975		

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。

「2_進捗状況」から「5_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。